

設立趣意 (1968年7月)

最近における人口の都市集中化の傾向は増々激しく、これに伴い都市周辺の土地開発が急速に進められ、開発土地には住宅及び工場が続々と建設されつつあります。

本県下においても住宅地及び工場用地の開発が盛んでありますが、住宅並びに工場にとっては先ずもって水を確保することが生活にも生産にも絶対に必要であり、受託及び工場の建設に先立ち需要者は当然に必要な量の水を確保することが出来るかどうかを検討する必要にせまられます。

わたくしたち横浜市の水道事業に関係する職員は、今後とも増加する一般市民の水の需要に応じ、横浜市公営の水道施設による家庭用水及び工業用水の供給について、一般市民の依頼による調査や水道施設の新設並びに改善についての技術的指導等を行うことによって、積極的に水道事業の発展に努めたいと考えるものであります。

またわたくしたち水道事業に関係する職員においても、水資源の開発、給水施設の技術的研究や文化活動、福祉厚生を進めるためにも早くから水道会館を設立することを希求していました。

昭和43年7月横浜市の水道事業に関係する職員を中心として水道会館建設の具体案が提出され、会館設立の決議がなされました。

当財団法人横浜市水道会館設立の暁には横浜市の水道事業関係者の研究活動、福祉の増進はもとより、一般市民の生活及び生産に必要な水道事業の発展に大いに資するところがあって、これが活動の源泉として当法人を設立し、市民への給水に関する事業を遂行せんとするものであります。

以上の趣旨により当法人の設立を計画いたしましたので、慈に設立のご認可を得たく、関係各位の御理解と御尽力をお願いするものであります。